



砺波市立 庄南小学校

校長：長谷川清子 先生

指導教諭：林 誠 先生

発表児童：4年1組 9名



庄南小学校は、昭和54年に太田小学校、中野小学校及び出町小学校の一部(大門地区)を統合して開校しました。

校区は、庄川が五箇山から砺波平野に注ぐところに扇形に広がっています。豊かな川の恵みを生かし、米、チューリップ、大門そうめんなどの生産が盛んな農村地帯です。

平成16、17年度は国語科の研究指定を受けて、子供一人一人が自分の考えをもち、伝え合う力を高めることに取り組んできました。



発表テーマ

庄南・庄川探検キッズの活動報告

学校のそばを流れる庄川。近くにならながら意外に知らない庄川の姿について、総合的な学習の時間に調べてきました。

水道水となつてくらしを支える庄川、おいしい鮎を育てる庄川、洪水を引きおこした昔の庄川など、様々な庄川の姿を調べ、まとめ、伝えてきた庄川探検キッズの活動の様子を報告します。

林 誠 先生より

自然と共生できる人間に育てほしい

庄川の恵みに支えられて生活していることを実感してほしいと考えて始めた学習でしたが、洪水や堤防工事などの歴史的な側面に目を向けたり、川原のごみの実態に気づいたりしたこと、より多面的に川と人間のかかわりについて考えることができるようになってきました。

単に利用するだけでなく、また、開発したり制御したりする対象としてとらえるだけでなく、川も人間も共に自然の一部として共生していこうとする柔軟で広い発想ができるようになってほしいと願っています。

庄川の学習から、さらに大きく自然環境の問題にも目を向けられるようにテーマを広げながら学習を進めたいと思います。



▲水質調査に参加してPACテストにトライ。



▲水資料館では洪水が多かった昔の庄川について学びました。



▲学習発表会では庄川の水をコップやびんに入れた楽器で合奏。



▲手作りポスター完成！

考えたこと 感じたこと

「庄川」があるから 生きている

松島 ^{りさ} 李紗 (4年生)

私たちは「庄川」があるから生きていられるんだと思います。一年間、水について学習してきた結論です。

社会科で水のことを調べました。私たちの飲んでいる水道の水が庄川からきているのではないかという意見を聞いてびっくりしました。庄川の水が飲み水になるなんて思ってもいなかったからです。松島浄水場へ行って、所員の方の話を聞いてそれが確かめられました。その後、水質調査をしたときに、庄川の水は「きれいな水」と判定されましたが、もっときれいにして、富山県で一番きれいな川にしたいと思いました。みんなにも伝えたくてポスターやちらしも作りました。庄川についていろんなことを知ってとても楽しかったです。大好き庄川！



学習テーマの設定

市のシンボル・庄川

砺波市の市章にも描かれ、市のシンボルである庄川。いつもそばを流れているけれど、よく知りませんでした。そこで4年生が庄川について調べてまとめることにしました。



いちばんきれいな川へ

庄川を富山県でいちばんきれいな川にしたい！そのため自分たちに何ができるのかを考えて、今まで取り組んできたさまざまな活動について報告します。

学習の展開

庄川の水はのめる？

初めての庄川探検は、大きくヌルヌルした石に足をとられ歩きにくかったのですが、水はきれいでした。この水はのめるの？いつも飲んでいる水道水は庄川の水なのかな？など疑問が生まれました。



6月 松島浄水場見学



水道水のもと庄川の水

松島浄水場を見学して、庄川の水をきれいにして水道水を作っていることを確かめました。きれいに見える庄川ですが、原水を流し続けると汚れがたまり、ほんとうにきれいなのか？と新しい疑問もわきました。

水質調査の結果は…？

どんな生き物がいるかで水のきれいさがわかる、水生生物による水質調査をしました。その結果、きれいな水にすむ生き物がいろいろと見つかり、庄川の水はやっぱりきれいだとわかりました。



伝えたい！庄川のこと

学習発表会では全校のみんなに庄川について伝えたいと、「水はうたいます」と題して創作劇やクイズ、庄川の水をびんやコップなどに入れて合奏し、水が奏でる美しい音を聞いてもらいました。

できることをこれからも

できることから行動し、多くの人に思いを伝えたいと、ポスターやちらしを作って水の大切さをアピール。ひとりひとりでできることは小さく限られていても、これからはがんばって行動していきます。

